ミサイル防衛費 1.5倍超

04年度以降 累計1兆5800億円に

北朝鮮の脅威に備えた弾道ミサイル防衛（BMD）に関し、政府が整備を始めた二〇〇四年度以降、想定を上回る規模の予算を投じていることが防衛省への取材で分かった。一六年度予算案を含めると、十三年間のBMD関連費用は累計で約一兆五千八百億円。北朝鮮が人工衛星と主張する事実上の長距離弾道ミサイル発射を受け、安倍政権は新たなミサイル迎撃システムの配備検討を表明したが、導入すればさらに費用が膨らむことになる。（横山大輔）

政府は〇八年四月の国会答弁で、BMD整備費を全体で「八千億円から一兆円程度を要する」と説明していた。約一兆五千八百億円という累計額は既に一・五～二倍に達する。

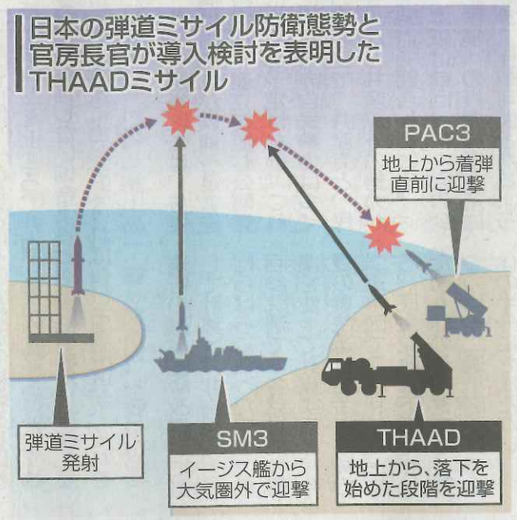
現在のBMDは、海上自衛隊のイージス艦四隻に搭載したSM3ミサイルと、全国に二十四基を展開する地上配備型のPAC3ミサイルの二段構えで弾道ミサイルを迎撃する。

BMDは「スパイラル開発」と呼ばれ、順次能力向上を図る手法で開発が進むため、数が増えなくても費用が上乗せされる。

実際、高性能レーダーなどの関連装備費や日米共同の開発費も加わり、毎年度数百億～一千億円超の予算がかかっている。特に安倍政権ではBMDの強化を打ち出し、SM3搭載イージス艦を八隻体制に増強することを決定。一五、一六年度のBMD関連費は単年度でそれぞれ二千億円を超えた。

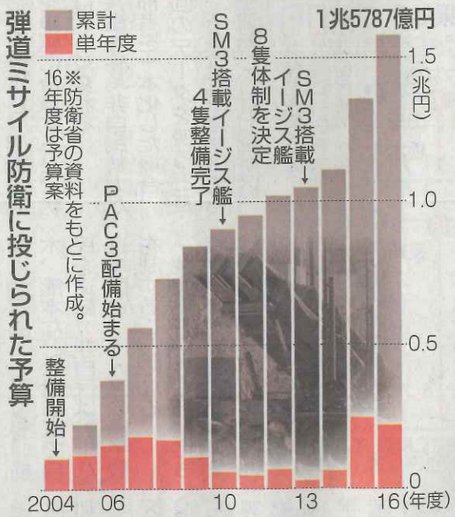
政府が新たな配備を検討しているのは、米軍の地上配備型迎撃システム「高高度防衛ミサイル（THAAD）」。迎撃高度がSM3とPAC3の間で、導入すれば三段構えの体制になる。費用は米政府との協議次第だが、少なくとも数千億円との指摘がある。製造元の米ロッキード・マーチン社によると、アラブ首長国連邦に二基売却する概算契約は約二十億ドル（二千三百億円）だった。

菅義偉官房長官は、北朝鮮による弾道ミサイル発射前は「国民の安心・安全のための対応策はしっかりと整えた」と強調したが、発射後は「国民を守るため検討を加速する」と新システム導入に意欲を示した。



高高度防衛ミサイル（THAAD）米軍がミサイル防衛（MD）の一環として運用する地上配備型の迎撃ミサイル。弾道ミサイルが大気圏外を飛んでいる間に迎撃し損なった場合に備え、大気圏内に再突入してくる高度150キロほどとされる段階で撃ち落とすとしている。PAC3も地上配備型だが、着弾直前の高度十数キロで使われる。

「高高度配備」さらに数千億円



際限なく競争続く

元航空自衛隊空将補でNPO法人「国際地政学研究所」の林吉永事務局長の話　弾道ミサイル防衛能力を向上させれば、相手はさらにかいくぐるミサイルを開発する。巨費を投じ新システムを導入しても「穴」は出る。際限ない競争が果てしなく続き、歯止めが利かない「安全保障のジレンマ」に陥る。安倍政権は安全保障関連法の議論で米国との「同盟強化」をあれほど強調しながら、日本を狙う弾道ミサイルに米軍とどう迎撃体制を組むか全く説明していない。国民に知らせず、巨額の予算を投じることは許されない。

参院選1人区

共産 候補大幅取り下げ

野党共闘 反安保法公約が条件

参院の改選1人区で公認候補を取り下げる方針について、会見する共産党の志位委員長＝22日午後、東京都渋谷区の党本部で

共産党の志位和夫委員長は二十二日、党本部で記者会見し、夏の参院選で三十二ある全改選一人区を対象に野党勢力を結集して自民党に対抗するため、既に擁立した公認候補のうち「かなりの人は立候補を取り下げることになる」と正式に表明した。競合する民主党公認・推薦候補らが、安全保障関連法廃止と集団的自衛権の行使を認めた閣議決定の撤回を選挙公約にすることを条件とする。次期衆院選の野党協力にも言及した。

＝関連❷面

会見に先立つ党全国会議で、こうした方針を示した。一人区での一本化を模索する民主、維新、社民、生活各党と二十三日に開く五党幹事長・書記局長会談でも説明し、調整を急ぐ。

志位氏は「大局に立って野党共闘を成功させる立場に立てば、思い切った対応が必要だ」と強調。労働法制や原発など、安保関係以外の政策課題でも可能な限りの合意を目指すという。

次期衆院選の小選挙区は「参院選一人区と同じ方針というわけにはいかない」と指摘。その上で各野党の直近の国政選挙での比例得票などを勘案しながら「ギブ・アンド・テークを原則に推進したい」と、協議を進める考えを示した。

共産党は参院選で一人区のうち、二十九選挙区で公認候補を決定済み。十四選挙区で民主党公認候補、七選挙区で野党系の無所属候補との競合が見込まれる。今のところ参院熊本選挙区と四月の衆院北海道5区補選を除き、共産党を含む野党共闘は成立していない。

共産党は参院選の選挙区、衆院選の小選挙区の全てで独自候補擁立を原則としてきた。二〇〇九年衆院選では、共産党が三百選挙区の多くで擁立を見送り、民主党政権の誕生を後押しした。（宮尾幹成）

平和の俳句

戦後71年

満月が平和呼びかけ世を照らす

香世（かよ）　ギルモア（76）　米国ファイエットビル市

〈いとうせいこう〉米国ジョージア州からの平和の俳句。美しい光が輝いて、眠る者たち、働く者たちを見守る。静かな情景であり、幸せな心情である。

2016.2.23

ふくしま 避難住民の手仕事

にじむ素朴、丁寧さ　作品展始まる

東京電力福島第一原発事故から五年になるのを前に、避難中の福島県民の手芸品を集めた展示会が二十二日、東京都千代田区内幸町の東京新聞一階ロビーで始まった。古い着物を再生した小物を中心に七十点を展示。素朴で丁寧な作品の数々に、訪れた人たちは今なお続く避難生活に思いをはせていた。

31面に続く

政府広報｜経済産業省
平成28年4月から 電気を自由に
●皆さんのライフスタイルに合った電気を自由に選べます。選ばなくても大丈夫です。
●怪しい勧誘にはご注意を
詳しくは▼ 電力小売自由化

ロボット義足で山へ街へ

しいって聞いたことがあるけど」

夫「ロボット義足はモーターやコンピューターで動くから、体に

本日25面に紙の取り組み「平和のうた」を紹介。東京速記者ら投稿載しています

きょうの紙面

組み体操全廃

31

東京新聞
中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505　電話 03(6910)2211

玉露園
飲んで美味しく料理のかくし味でも大好評！
こんぶ茶
KOMBUCHA
GYOKUROEN
http://www.gyokuroen.co.jp

読者とともに
紙面へのご意見お問い合わせは
●電話
03-6910-2201
土日祝日除く9:30～17:30
●FAX
03-3595-6935
東京新聞ホームページ
TOKYO Web
www.tokyo-np.co.jp
政治部など本紙記者がツイッターでつぶやいています
（一覧は5面に）
ご購読お申し込み
0120-026-999